

冠詞と it で説明する (標準)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: むずかしさや大切さを形式主語で述べ、one と it を使い分けて説明できる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

It is not easy for me to speak in front of many people.

大勢の前で話すのは、私には簡単ではない。

Last year I found it hard even to say my own name clearly.

去年は、自分の名前をはっきり言うことすら難しかった。

My teacher gave me one piece of advice, and I still remember it.

先生が助言を1つくれて、私は今もそれを覚えている。

型で書く 型で書く—むずかしさ・気づき・もらったことば 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、冠詞と it / one だけをチェックし合おう。気づき: (1)と(2)の it は「それ」ではなく場所取りで、本当の中身は to 以下にあります。(3)の it はその助言そのものを指しています。同じ it でもはたらきがちがいます。

(1) It is not easy for me to _____. 自分にとってむずかしいこと

(2) Last year I found it hard to _____. 去年むずかしかったこと

(3) _____ gave me one piece of advice: _____. もらった助言

ペアで話す ペアで話す—「むずかしいこと」インタビュー

交代で質問→答えは1文+ひとこと補足。答えに Why? か Since when? を1回は返す。気づき: 質問の It is ... to ... をそのまま借りて答えると、主語が長くなりやすくなります。

(1) Is it difficult for you to get up early?

早起きは苦手?

(2) What do you find hard about learning English?

英語の勉強で難しいと感じるのは?

(3) What is the best advice you have received?

もらった中でいちばんの助言は?

(4) If you lost your phone, would you buy a new one right away?

スマホをなくしたら、すぐ新しいのを買う?

あいづち・返しの型: Why? Since when? Same here. That's interesting. I understand.

書く

自分の番—60語前後で書く

思考・判断・表現

Write about something you found difficult and how you dealt with it. (難しいと感じたことと、どう向き合ったかを書く)

①何が難しいか (It is ... for me to ...) ②いつそう感じたか (I found it ... to ...) ③だれかにもらった助言 (advice を数えない名詞として) ④今はどうか—の4段で、60語前後。形式主語または形式目的語の it を2回以上使う。

評価

先生はここを見ます (加点式)

形式主語・形式目的語の it を2回以上、形を正しく使えている	+4点
数えない名詞 (advice / information など) を正しく扱えている	+3点
自分にしか書けない具体がある (いつ・どこで・だれと)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り

ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ